



「お茶の間カフェ ヴェルデシエーナ」



たまり場グループの上玉利滋子さんと代表の菅沢純さん、平田征雄さん

牛久市で活動する、市民がつくるたまり場グループ「たまりん」。そのメンバーは、牛久市社会福祉協議会が平成20年に「市民参加による住みよいまちづくり」をテーマに開催した、団塊世代による共同講座受講生の有志5名です。講座の終了後も、たまり場づくりに取り組み、平成21年7月に、たまり場第一号の「お茶の間カフェ」を開設しました。代表の菅沢純さんは「地域住民同士の関係が希薄になっている今、隣同士が少しでも知り合って助け合う環境づくりが必要だと感じ、たまり場づくりを始めました」と話されます。

●マンションのゲストルームでお茶の間カフェ

お茶の間カフェ第一号の場所は、たまり場グループのメンバー上玉利滋子さんがお住まいのマンション、ヴェルデシエーナのゲストルーム。マンション管理組合の協力のもと、毎月4回、水曜日の午後2時から4時まで開催しています。マンション住民なら誰でも参加でき、利用者がやりたいことを決めて、計画を立て、実行しています。毎月1回だけ、大人限定の日がある他は、お子さんから高齢者まで、毎回15名ほどの住民がお茶の間カフェを訪れて交流しています。



お茶の間カフェを運営する上玉利さん

●交流のきっかけとなるイベントを開催

お茶の間カフェでは、毎月4回の活動の他に、特別イベントを開催しています。これまでに、牛久市福祉バスでの牛久市名所めぐり、親子で楽しむ英会話、ホテル狩

り、夏祭り、牛久の歴史と自然観察、ハーブコンサートなど、幅広い世代が参加できるイベントを実施。「イベントを通して、牛久市がみんなの故郷になり、住民どうしが、さらに仲良くなれたらと思っています。そして、お茶の間カフェに集い、楽しく過ごしてもらえるといいですね」と上玉利さん。活動を始めてから嬉しい変化があり、マンションの住民同士で挨拶を交わすことが大変多くなったそうです。また、みんなが集れる場所は、子育てや悩みごと相談、生活情報の交換の場にもなっているとのこと。



みんなで楽しく語らいの時間

●温もりのある本当のお茶の間に…



マンション住民へ「お茶の間カフェ便り」を配布

上玉利さんの夢は、「お茶の間カフェが、いつでも、誰かがいて、好きな時間に出入りできる温もりのある本当の“お茶の間”に進化してくれること」だそうです。たまり場グループでは、今後もマンションの他、空きビル、空き店舗等を活用した“たまり場づくり”を計画しています。「いろいろな経験を積んだ方にメンバーになってもらい、アイデアを出し合って活動していきたい」と代表の菅沢さん。

たまり場グループの第2号のたまり場として、今年の3月から、向台自治会館を開催場所に、体を動かし楽しく語らう「向台ビューティーサークル」をスタートさせます。市民のためのたまり場づくりを、市民の手で着実に進めている皆さんでした。



みんなで地域を歩きます

